

問1 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？

1. 応仁の乱 2. 壬申の乱 3. 大化の改新 4. 承久の乱

問2 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？

1. 封建国家 2. 律令国家 3. 中央集権国家 4. 古代国家

問3 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？

1. 東大寺 2. 中尊寺 3. 四天王寺 4. 法隆寺

問4 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？

1. 白村江の戦い 2. 壇ノ浦の戦い 3. 壬申の乱 4. 川中島の戦い

問5 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐる起こった大規模な内乱を何という？

1. 承久の乱 2. 元寇 3. 壬申の乱 4. 白村江の戦い

問6 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？

1. 和様 2. 左右対称 3. 大仏様 4. 禅宗様

問7 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？

1. 班田収授法 2. 公地公民 3. 租庸調 4. 戸籍

問8 中大兄皇子とともに飛鳥時代に権力を握り、天皇中心の政治の実現を阻んでいた豪族を何という？

1. 蘇我氏 2. 源氏 3. 平氏 4. 藤原氏

問9 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？

1. 持統天皇 2. 聖武天皇 3. 天智天皇 4. 天武天皇

問10 663年、日本が朝鮮半島での拠点を維持するために兵を送り、唐・新羅連合軍と戦った国を何という？

1. 高句麗 2. 百済 3. 任那 4. 新羅

問11 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？

1. 十七条の憲法 2. 大宝律令 3. 大化の改新の詔 4. 御成敗式目

問12 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？

1. 連合国家 2. 封建国家 3. 都市国家 4. 中央集権国家

問13 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣明使 2. 勘合貿易 3. 遣隋使 4. 遣唐使

問14 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

1. 班田収授法 2. 公地公民 3. 口分田 4. 租庸調

問15 聖徳太子が中心となって栄えた、最初の本格的な仏教文化を何という？

1. 国風文化 2. 白鳳文化 3. 天平文化 4. 飛鳥文化

問16 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？

1. 十七条の憲法 2. 冠位十二階 3. 大宝律令 4. 大化改新の詔

答え合わせ・解説

問1	答え 3 大化の改新	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「大化の改新」を開始しました。彼らは「公地公民」を掲げ、土地や民を豪族の手から国家の管理下に移しました。また、税制の整備や中央集権的な統治を目指す制度の導入を行いました。
問2	答え 2 律令国家	律令国家とは、国の決まりである「律」と「令」に基づいて、天皇が全国を統治する国家の形です。都に政治の中心を置き、官僚が整備され、国民は公地公民（土地と人民は天皇のもの）という原則のもとで戸籍に登録されました。これにより、日本は法治主義的な性格を強めた国へと生まれ変わりました。
問3	答え 4 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問4	答え 1 白村江の戦い	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。この敗戦により、日本は朝鮮半島での影響力を失い、次に唐が日本へ攻めてくることを恐れるようになりました。
問5	答え 3 壬申の乱	672年に始まったこの争いは「壬申の乱」と呼ばれ、地方の豪族や兵を味方につけた大海人皇子が勝利しました。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、これまでの豪族中心の政治から、天皇に権力が集中する政治へと大きく転換しました。
問6	答え 2 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿をすることで、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問7	答え 4 戸籍	天智天皇が作成させた戸籍（庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。これにより、誰がどこに住んでいて、どのくらいの労働力があるのかを国が管理できるようになりました。これにより、徴兵や税の徴収がスムーズに行える体制が整えられました。
問8	答え 1 蘇我氏	蘇我氏は飛鳥文化の中心的な存在でもあり、聖徳太子と協力して国の基盤を固めました。しかし、独裁的な権力を振るったことで他の豪族や天皇家との対立を深め、最終的には不満を持つ中大兄皇子や中臣鎌足らによって倒されることとなりました。
問9	答え 3 天智天皇	天智天皇は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。特に、日本で初めて全国的な戸籍である「庚午年籍」を作成したことは、国が国民を把握し、税を確実に徴収するための非常に重要な転換点となりました。
問10	答え 2 百済	663年、唐と新羅が協力して百済を滅ぼそうとした際、日本は百済を助けるために軍を送りました。しかし、白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗し、朝鮮半島における政治的な拠点を完全に失うことになりました。
問11	答え 1 十七条の憲法	604年に聖徳太子によって制定された「十七条の憲法」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。特に「和をもって貴しとなす」という言葉が有名で、天皇への服従や、仏教を重んじることを説いています。
問12	答え 4 中央集権国家	中央集権国家とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。冠位十二階や公地公民といった制度は、まさにこの体制を実現するための手段でした。
問13	答え 3 遣隋使	607年に小野妹子らが派遣されました。彼らは隋の皇帝に国書を届けて対等な外交関係を求めるとともに、仏教の教義や政治の仕組みを学び帰国しました。これにより日本には大陸の新しい文化が急速に流入しました。
問14	答え 2 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問15	答え 4 飛鳥文化	飛鳥文化は、法隆寺などの寺院建築や、釈迦三尊像のような仏像に見られる彫刻に特徴があります。これらは朝鮮半島を経由して伝えられた大陸の文化の影響を強く受けており、当時の人々の信仰心や芸術的な感性が結実したものです。
問16	答え 1 十七条の憲法	604年に制定されました。役人が守るべき心構えを全17条で記しており、その第2条には「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」が説かれています。儒教的な考え方や仏教の教えに基づき、和を大切にすることなどを強調しました。